

**HISTORICA** クリエーターズサミット

KYOTO CMEX 2010

平成 22 年 11 月 19 日

報道関係各位

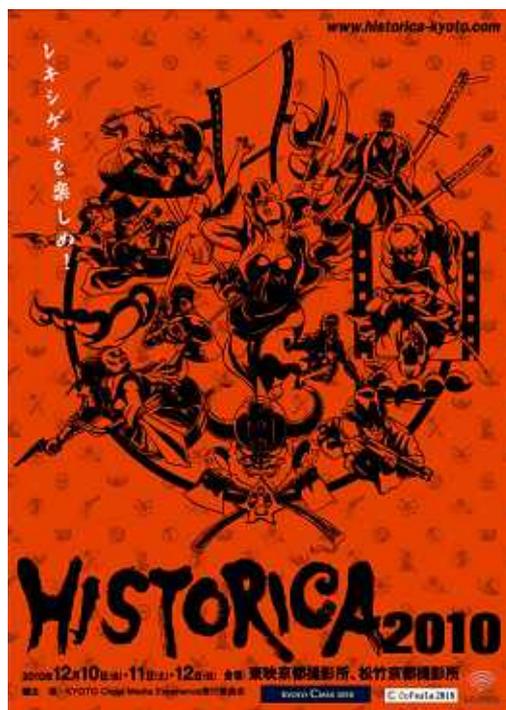
KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

HISTORICA2010 実行委員会

KYOTO CMEX 実行委員会事務局  
(京都府商工労働観光部 ものづくり振興課)  
TEL.075-414-4847

HISTORICA 運営事務局  
(株ディレクターズユニブ内)  
TEL : 075-371-4005

京都太秦の東映・松竹両撮影所で時代劇映画祭『HISTORICA2010』を開催 国内  
外の時代劇映画を一挙上映。各国の第一線で活躍する映画人が集う『クリエー  
ターズ・サミット』を同時開催



KYOTO CMEX実行委員会(委員長 齋藤 茂 京都商工会議所 常議員、京都ブランド推進特別委員会委員長 / 株式会社トーセ代表取締役社長)並びに HISTORICA2010実行委員会(東映株式会社京都撮影所・株式会社松竹京都撮影所ほか)は、2010年12月10日(金)より12月12日(日)まで『HISTORICA2010』及び『クリエイターズサミット』を開催致します。

今年で2回目となる『HISTORICA』では『レキシゲキを楽しめ!』をテーマに、映像表現やインターネットの技術革新、共同製作やクロスメディアなど様々な刺激(シゲキ)を受けた、ファンタジー作品やスペクタクル作品など各国の歴史映画(レキシゲキ)作品を集め、各国の最新作を中心に上映致します。12月10日(金)のオープニングでは、『最後の忠臣蔵』(監督: 杉田成道 製作: 『最後の忠臣蔵』製作委員会 配給: ワーナー・ブラザーズ 12月18日全国ロードショー)のプレミア上映が決定致しました。

海外作品では昨年末韓国でヒットしたカン・ドンウォン主演の『チョン・ウチ』、ドイツで記録的なヒットとなったファンタジー映画『小さなバイキングビッケ』などを上映致します。ゲストには『シカゴ』(2001年)『SAYURI』(2005年)にて2度のアカデミー美術賞を受賞した美術監督のジョン・マイヤー氏を招き、関連作品『エリザベス』の上映及びセミナーを開催致します。その他の上映作品や各種セミナーにつきましては HISTORICA 公式サイトにて随時発表する予定です。

さらに、同時開催される『クリエイターズサミット』では、HISTORICA 上映作品のゲストを一堂に集め、世界の歴史劇に見られる最新技術をつかったアクション表現や、表現の枠を越えた歴史エンタテインメントの新潮流などをテーマに議論を行います。

時代劇の聖地・太秦の撮影所内で行われる初の映画祭 HISTORICA 時代劇が製作されている現場の空気を感じながら、世界のレキシゲキを鑑賞できるまたとない機会となります。どうぞご期待下さい。

本開催情報は、11月19日現在開示可能な情報の範囲です。

HISTORICA2010 及びクリエイターズサミットは、ジャパンコンテンツフェスティバル(CoFesta 2010)のオフィシャルイベント、KYOTO Cross Media Experience 2010 (KYOTO CMEX2010)の公式イベントです。

## 記

< HISTORICA2010 開催概要 > 当日のタイムテーブルについては別添資料 を参照

<b>日時</b>	2010年12月10日(金) 2010年12月11日(土) 2010年12月12日(日) * 上映時間は作品毎に異なります。
<b>会場</b>	京都太秦地区(東映京都撮影所第一試写室、松竹京都撮影所試写室、東映太秦映画村、大映通り商店街)
<b>主催</b>	KYOTO Cross Media Experience 実行委員会 HISTORICA 2010 実行委員会(東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹京都撮影所、株式会社ディレクターズ・ユニブほか)
<b>内容</b>	国内外の歴史映画の上映、製作関係者によるセミナー等
<b>入場料</b>	無料
<b>入場方法</b>	インターネットによる予約制。 入場予約受付は「HISTORICA」公式サイトにて 11月22日(月)正午よりご案内予定です。
<b>公式サイト</b>	<a href="http://www.historica-kyoto.com/">http://www.historica-kyoto.com/</a>

開催概要は11月19日時点で開示可能な情報のみとなります。

< HISTORICA2010 上映予定作品一覧 (公開年順) > 上映作品については別添資料 を参照

上映作品タイトル	公開年 / 製作国 / 監督
最後の忠臣蔵	2010年 / 日本 / 杉田成道 * オープニング上映
チョン・ウチ	2009年 / 韓国 / チェ・ドンフン * 関西初上映
小さなバイキングビッケ	2009年 / ドイツ / ミハエル・ブリー・ヘルビヒ * 関西初上映
クイーン・オブ・ランカスカ	2008年 / タイ / ノンスィー・ニミット * 日本初上映
エリザベス	1998年 / イギリス / シェカール・カプール

一覧は11月19日時点で開示可能な情報のみとなります。

<クリエイターズサミット 開催概要> クリエイターズサミット2については別添資料 参照

<p><b>日時</b></p>	<p>クリエイターズサミット1 2010年12月11日(土)12:45-14:45 東映京都撮影所第一試写室 クリエイターズサミット2 2010年12月11日(土)16:00-18:00 東映太秦映画村 中村座 クリエイターズサミット3 2010年12月12日(日)18:30-20:00 東映京都撮影所第一試写室</p>
<p><b>主催</b></p>	<p>KYOTO Cross Media Experience 実行委員会</p>
<p><b>内容</b></p>	<p>クリエイターズサミット1  <b>テーマ:</b>重力からの解放ー変化するレキシゲキアクション  <b>登壇者:</b> HISTORICA の上映作品の制作関係者を中心に構成(予定)          技術革新によって進化したVFXは実写における映像表現を広げ、これまでゲームやアニメにしかできなかった、重力に縛られず縦横無尽に空間を駆け巡るアクションシーンが実現できるようになりました。クリエイターズサミット1では、歴史劇映画でも頻繁に使われるようになったVFX技術によるアクション表現をテーマに、VFXが歴史劇映画にもたらす効果と旧来のアクションや殺陣との違いを通じて、技術革新と普遍性の間でより進化する表現の魅力について語っていただきます。</p> <p>クリエイターズサミット2  <b>テーマ:</b>歴史エンターテインメント新潮流  <b>登壇者:</b> <span style="background-color: #cccccc;">別添資料 参照</span>          現在、観客たちは、メディアやコンテンツを分け隔てることなく受け入れるだけに留まらず、自らの力で情報を発信する力すら持つようになっていきます。送り手と受け手が対等の立場で多様なメディアを使いながら物語を「語り合い」、相乗効果を生み出す - クロスメディア文化の到来です。このような現象をより根本的なところから把握するという主旨で選んだテーマが「歴史エンタテインメントの新潮流」です。これまで多くの語り部が、歴史という民衆の間で共有された世界観を援用しつつ、自らの作家性を発揮してきたという背景があ</p>

	<p>るからです。また、撮影機器の小型化とデジタル化は、時代劇における絵作りを抜本的に変えました。本シンポジウムでは、歴史創作というジャンルにおいて一流のエンタテインメントをつくりあげた方々をお招きし、如何にメディアの特性と、時代劇という世界観を生かしながらメッセージを発したのかについて語っていただきます。</p> <p>クリエイターズ・サミット3  テーマ:越境するレキシゲキ  登壇者: HISTORICA の上映作品の制作関係者を中心に構成(予定)</p> <p>これまで国内向けに製作・上映されてきた多くの歴史映画が、国際映画祭や海外配給の普及によって世界の観客の目に触れる機会に恵まれるようになりました。近年では文化や国境を越えて国際共同製作される歴史映画も増えています。クリエイターズ・サミット3では、海外配給を前提にした歴史映画作品のスタッフを集め、国際化する歴史映画を支える背景やその戦略について議論し、日本の時代劇が世界に &lt;越境&gt; するためのヒントを探ります。</p>
入場料	無料
入場方法	<p>インターネットによる予約制。</p> <p>入場予約受付は「HISTORICA」公式サイトにて11月22日(月)正午よりご案内予定です。(クリエイターズサミット2のみとなります。クリエイターズサミット1、3の予約については、登壇者決定後、公式サイトにて発表します)</p>
公式サイト	<a href="http://www.historica-kyoto.com/">http://www.historica-kyoto.com/</a>

開催概要は11月19日時点で開示可能な情報のみとなります。

以上

### プレスキットダウンロードのお願い

HISTORICA・クリエイターズサミットに関するプレス用のキットをご用意させていただきました。ぜひご活用下さい。

本文章以外に写真などが入っております。URLは隠しURLとなっており、直接URLを入力いただくことでキットがダウンロードできます。

プレスキットダウンロード URL <http://www.historica-kyoto.com/press1/>

## KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience) について

- 趣 旨:** 京都を舞台にコンテンツをクロスメディア展開することにより、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を広く海外・国内に情報発信し、コンテンツ産業の振興とそれらを支える人材育成・人材交流を図る事業です。
- 会 期:** 平成 22 年 9 月 25 日(土)～12 月 12 日(日)
- テーマ:** ジャパン・コンテンツの悠久と先端
- 会 場:** 京都国際マンガミュージアム、東映京都撮影所、松竹京都撮影所、東映太秦映画村、立命館大学朱雀キャンパスなど
- 対 象:** 国内外や京都のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す大学生、コンテンツに関心のある方など
- 主 催:** KYOTO Cross Media Experience 実行委員会  
委員長 齋藤 茂 京都商工会議所 常議員、京都ブランド推進特別  
委員会委員長 / 株式会社トーセ代表取締役社長
- 構 成:** 経済産業省近畿経済産業局、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹京都撮影所、株式会社東映京都スタジオ、株式会社ドーガ、財団法人京都文化財団・京都文化博物館、京都国際マンガミュージアム、公益財団法人大学コンソーシアム京都、関西学院大学、京都嵯峨芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、立命館大学、財団法人京都産業 21、財団法人京都高度技術研究所、ITコンソーシアム京都、中島貞夫(映画監督)、京都府、京都市、京都商工会議所
- 公式サイト:** <http://www.kyoto-cmex.jp/>